



# 1年学年だより

発行日：令和元年9月30日（月）

発行者：横浜市立南高等学校附属中学校

校長：三浦 昌彦

NO. 5

## 開校に想いを馳せて

校長代理 白田 淳子

みなさん、南高祭お疲れさまでした。途中、台風の直撃というアクシデントがありましたが、充実した3日間を過ごすことができましたと思います。準備の段階で各クラスを見て回った時には段ボールや新聞にまみれていたにも関わらず、当日までにはしっかり素敵な展示物に仕上げていたのは、さすが附属中生だなあと感心しました。どのクラスも工夫を凝らした展示でした。

また、高校生の先輩たちが本当に南高祭を楽しんでいる姿を見て、あともう少し成長したら、あんな風に見えるんだと憧れをもったのではないのでしょうか。私も、あるクラスで展示のアイデアを採用してくれたり、フードコートに並びながらみなさんといろいろな話をしたりと南高祭の良い思い出をつくることができました。

さて、10月1日は何の日か知っていますか。横浜市立南高等学校附属中学校は平成23年10月1日に創立されました。ということは10月1日は本校の創立記念日です。今回の学年だよりでは、本校の開校の歴史に触れたいと思います。

平成21年11月 横浜市教育委員会が「横浜市立中高一貫教育校の設置に関する基本方針」を公表

平成22年5月 横浜市教育委員会が「横浜市立中高一貫教育校基本計画」を策定

平成23年4月 開設準備室が南高等学校内に設置され準備を開始

平成23年5月 「横浜市立学校条例」の一部が改正され、本校の開校が正式に決定

平成23年10月1日 本校が開校

平成24年4月1日 1期生が入学 開校宣言（下の枠内）

そして今年度、本校は開校して8年目になりました。市立中高一貫教育校という新しい形態で6年間の安定した環境の中で、計画的・継続的な教育活動を展開し、横浜はもとより国際社会で活躍する志の高いリーダーとなる人材の育成を目指すという想いが込められて開校した学校です。今、みなさんはそういう学校で学んでいます。歴史ある南高校から見れば、たった8年かもしれませんが、たくさんの人の期待と努力でできた学校です。みなさんも創立記念日の機会に、開校に携わった方々やその想いを考えてみてください。実際に本校の開設準備に関わった先生がまだいらっしゃるのです。お話を聞いてみるのもいいかもしれません。

世界で活躍できる人を目指し、心と体、学力と人間性を成長させてください。

開校宣言  
平成二十四年四月一日をもって  
横浜市立南高等学校附属中  
学校を開設します  
横浜市立南高等学校との一貫  
教育により、高い学力と豊かな人  
間性をはぐくみ、高い志と幅広い  
視野をもって世界で活躍できる  
人間を育成する中学校として  
発展することを期待し、ここに  
開校を宣言します。  
平成二十四年四月一日  
横浜市教育委員会

# たくさんの笑顔があふれた

## 南高祭舞台の部・展示の部

1年生にとっては初めての文化祭となった南高祭舞台の部・展示の部が、9月6日（金）～8日（日）の3日間にわたって開催されました。6日（金）の舞台の部では、おもに高校生によるバンド演奏や演劇、ダンスパフォーマンスなどハイレベルなステージ発表が行われ、全校生徒が一つとなって盛り上がりました。また、午後にはプロのダンサーをお招きしての特別ステージがあり、中高一貫校ならではの豪華な文化祭の初日となりました。

そして、7日（土）8日（日）には、一般公開の展示の部が開催されました。1年生は「世界を幸せにする第一歩」をテーマに、1学期のEGGで学んだことを新聞にまとめ、新聞掲示をメインとした展示発表を行いました。来ていただいたお客さんたちに満足してもらえるようにと、各クラス、展示のしかたにも工夫を凝らし、限られた時間の中で精一杯準備をする姿が素晴らしかったです。当日は、大変多くの方々にご来場いただき、活気と笑顔があふれる大成功の文化祭となりました。南高・附属中のよき伝統を引き継ぎながら、来年以降、さらに素敵な南高祭をつくっていきましょう！

### 1年1組

初めての文化祭で感動したのは、一人一人が責任感を持って、それぞれの役割の仕事をやりとげていたことだ。1-1のブースの場合、教室のシフトは2、3人だったはずなのに、ボランティアの人も含め、気づいたら常時5、6人はいるようになっていた。それは、どの人も「お客さんに南高祭を楽しんでもらいたい」という強い意志があったからであり、「1-1のブースに少しでも貢献したい」と思ってくれたからだと思う。そんな良い人と一緒にクラスになれて、本当に良かったと思っている。（1組男子）

初めて南高祭を行う側になって、外部からお客さんが来るようなことはこれほど大変なんだなと思った。いままで小学校の運動会など、外部から人が来るようなことは経験していたが、これほど規模が大きいのは初めてだったのでとてもいい経験ができたと思う。また、人から質問をされた時にしっかり対応できたこともあり日ごろ、意識していたことが通用したのでこれからも意識していきたいと思った。そして、もう少しまわりを見て動けるようになりたいとも思った。（1組男子）



### 1年2組

私は去年、「南附中の中1はどれくらいすごいんだろう、ちょっと見よう」くらいのノリで中1の教室に入った覚えがあります。新聞掲示よりも面白い展示たくさんあるし。でも今年、実際に自分でつくる側になると、新聞もすごい時間をかけて作り上げたし、クラス装飾は、話し合いから作成するまでもたくさん考えて、作業して、みんなで頑張って、やっと完成させることができました。今年学んだのは、「裏の努力」です。見えないところでたくさん頑張っている人がいることを知りました。（2組女子）



南高祭の最初の話し合いのときは、なかなか話し合いも進まなくて不安だったけど、最後の一週間でみんなが集中して協力できたおかげで、最高の南高祭になったと思うので、協力する大切さを学びました。僕はクラス全体での話し合いでは、ほとんど発言できていなかったけど、黒板アートの中からはアイデアをたくさん出すことができ、そのアイデアを「もっと良くしよう」とか「いいね」と言ってもらえて、自分の考えを出すことの大切さを学びました。(2組男子)



### 1年3組

高校生のクオリティが高く、尊敬した。また、サッカー部の先輩もとても頑張ってシフトや仕事をしていたので、部活でも文化祭でも「さすがだ」と思った。やはり先輩はすごいから、こんな風になりたいと思った。準備しているときや仕事中はみんなが一生懸命で、団結していたので、3組の良さが出たと思う。クラスはいつもより楽しくて、文化祭はクラスの良さを引き出すものだと思った。(3組男子)

シフトを手伝っているときに、とても小さい子が一人て来た。一緒に解説しながらクイズ、絵馬、おみくじを楽しんでもらえるようにした。また、絵馬やおみくじが足りなくなったときに急いでつくるなど、臨機応変に対応することができた。そして舞台の部では、特に中心となって周りを支えることができたと思う。自分が今できることを考えて進めることができた。今回学んだことは、おもてなしをすることの大切さだ。来てくれたお客さんが楽しめるように盛り上げ、工夫することができてよかった。(3組女子)



### 1年4組

展示の部のシフトを通して、笑顔であいさつすれば、相手も自分もとても良い気持ちになることを改めて学んだ。これから登下校、学校内でも笑顔であいさつをしていきたいと思った。部活では、私たちの音楽がみんなの心に届くように笑顔でいること、一生懸命全力で吹くことを学んだ。これからも、この2つのことに気をつけながら練習したいと思う。全体を通して何より大切だと思ったのは「笑顔」なので、来年は自分のテーマを「笑顔」として、南高祭をより良いものにしたい。(4組女子)

ふざけてもいいけどふざけすぎない。「節度」のようなものを学んだ。母も「他の学校の文化祭よりも落ち着いて良いわね」と言っていたし、バカになりすぎなくて良かったと思う。先輩がみな、小さい子に席をゆずっていたりしていた。自分はそういう機会はないけど、まだあと5年あるので、ぱっと何気なく人に優しくできるようにしていきたい。5年間これからやるうちに反省点はたくさん見つかると思うので、直せるようにしたい。(4組男子)





# 1年生 ドッジボール大会のひとこま

9月24日（火）7校時の学活の時間に「1年生ドッジボール大会」を開催しました。男女に分かれてクラス対抗戦を行いましたが、試合前に円陣を組んで気合いを入れたり、男女でお互いに応援し合ったりと、会場は大盛り上がり。みんなの生き生きとした楽しそうな表情がとても印象的でした！



## ◎3年生対象 令和元年度 全国学力・学習状況調査の結果

平均正答率（％）

	国語	数学	英語	英語（話すこと）
本校	95	91	79	45
全国（公立）	72.8	59.8	56.0	30.8

3年生を対象として4月18日（木）に実施された、令和元年度全国学力・学習状況調査の結果をお知らせします。今年度初めて「英語（話すこと）」の調査が実施されました。各教科の調査問題は国立教育政策研究所のホームページからダウンロードすることができます。